



平成 24 年 2 月 29 日

各 位

ガイアホールディングス株式会社

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号

(コード番号：3727 東証マザーズ)

代表者 代表取締役 郡山 龍

問合せ先 取締役 伊藤 洋

電話番号 03-5286-8436

新製品の企業化に関するお知らせ

ガイアホールディングス 半導体事業で開発している M2M 向け IC チップの概要を発表 ～ 第一世代 IC チップを搭載した通信モジュールを公開 ～

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍)は、グループ会社の株式会社アプリケーション、iaSolution Inc.、Zeemote Technology Inc.の3社が半導体事業として共同で開発しているインテリジェントなM2M向けICチップ(通称「千里眼」)の概要を発表し、第一世代ICチップを搭載した通信モジュールを公開したことをお知らせいたします。

1. 企業化に至るまでの経緯

当社グループでは、携帯電話向けのソフトウェアで長年培ってきたソフトウェア基盤技術の実績、ノウハウ、及び当社グループ会社である Zeemote Technology Inc.の特許技術等を組み合わせ、M2M 市場向けソフトウェアとハードウェアの融合による競争力の高い最先端技術を研究開発し、世界中のあらゆる民生用電子機器や生活家電を容易にクラウドに接続するという革新的な事業開発に取り組んでおります。M2M 通信が期待される適用分野や領域は広大であり、この巨大市場でタイムリーにモジュールや半導体等の当社製品を供給できる開発体制の構築や供給力の拡充を急速に進めております。

当社グループは、急速な拡大を続ける M2M 市場に対して競争力の高い製品・ソリューション群を研究開発して供給することで、M2M 市場による収益を携帯電話市場に次ぐ当社グループの柱として確立することが、今後の持続的な事業の成長のために重要であると考えております。

2. 新製品の概要

当社グループが開発した IC チップ群は、電子機器から発せられる電気信号の一次解析を IC チップ上で行い、その結果を無線通信によりクラウドに送信し、クラウド側で二次解析することにより電子機器の状態や表示しているデータ等を取得するため、既存の電気製品に繋ぐだけで簡単に M2M を使ったインターネット上のクラウドサービスを実現することが可能となります。

第一世代の IC チップは、既に市販されている血圧計やタイムレコーダーを始めとする、さまざまな民生用電子機器のデータ端子から出力される各種信号に対応しており、外付けの無線通信回路を介してネットワークに接続します。今回、市場からの強い要求に応えるため、既存の半導体をベースに開発したセミカスタムの IC チップを用い、周辺回路を付加したモジュールの形態で先行して提供を開始します。

第二世代の IC チップは、より広範囲なデジタル信号に対応し、無線部分を搭載した新開発のカスタムチップとなります。また、本半導体事業のプライマリーゴールである第三世代の IC チップは、アナログ信号にも対応した今までにないフルカスタムチップです。いずれも当社グループ内で試作開発し、特許出願済みです。

3. 連結売上高への影響及び今後の見通し

本件による平成 24 年 12 月期業績予想の修正はございません。
業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

4. 企業化のために特別に支出する費用

本件企業化のために特別に支出する費用は予定しておりませんが、今後発生が明らかになり業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリース「ガイアホールディングス 半導体事業で開発している M2M 向け IC チップの概要を発表 ～第一世代 IC チップを搭載した通信モジュールを公開～」をご参照ください。

以上

2012年2月29日

各位

ガイアホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

ガイアホールディングス 半導体事業で開発している M2M 向け IC チップの概要を発表 ～ 第一世代 IC チップを搭載した通信モジュールを公開 ～

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「ガイアホールディングス」)は、グループ会社の株式会社アプリックス(以下「アプリックス」)、iaSolution Inc.(以下「iaSolution」)、Zeemote Technology Inc.(以下「Zeemote」)の3社が半導体事業として共同で開発しているインテリジェントな M2M 向け IC チップ(通称「千里眼」)の概要を発表し、第一世代 IC チップを搭載した通信モジュールを公開しました。同 IC チップ群は、電子機器から発せられる電気信号の一次解析を IC チップ上でを行い、その結果を無線通信によりクラウドに送信し、クラウド側で二次解析することにより電子機器の状態や表示しているデータ等を取得するため、既存の電気製品に繋ぐだけで簡単に M2M を使ったインターネット上のクラウドサービスを実現することが可能となります。

第一世代の IC チップは、既に市販されている血圧計やタイムレコーダーを始めとする、さまざまな民生用電子機器のデータ端子から出力される各種信号に対応しており、外付けの無線通信回路を介してネットワークに接続します。今回、市場からの強い要求に応えるため、既存の半導体をベースに開発したセミカスタムの IC チップを用い、周辺回路を付加したモジュールの形態で先行して提供を開始します。

第二世代の IC チップは、より広範囲なデジタル信号に対応し、無線部分を搭載した新開発のカスタムチップとなります。また、本半導体事業のプライマリーゴールである第三世代の IC チップは、アナログ信号にも対応した今までにないフルカスタムチップです。いずれも当社グループ内で試作開発し、特許出願済みです。

今後ガイアホールディングスでは、国内の優秀な半導体エンジニアが集結し始めているアプリックスが中心となって、米国マサチューセッツ工科大学(MIT)のOBが創業した無線コントローラー開発の Zeemote とチャイナモバイルや HTC などに M2M や Android の技術を提供している iaSolution とともに、「すべてのものが繋がっている世界」を実現すべく、国際競争力のある技術を開発し、誰でも簡単に使える製品として提供していけるよう努めて参ります。

以上

■ 第一世代 IC チップを搭載した通信モジュール概観画像



ガイアホールディングス・グループが開発した
第一世代 IC チップを搭載する 3.5 センチ角程度
の小型の通信モジュール

■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリックス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc. などがあり、各社が提供するゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ガイアホールディングス株式会社 IR 担当

Tel:03-5286-8436

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 「CASTER 1」画像は日本たばこ産業(JT)から許諾を受けて掲載しております。